

デザイン情報学科新入生向け PC に関するアドバイス (2025 年度版)

1. パーソナルコンピュータ(PC)購入にあたってのデザイン情報学科の考え方

意外に思うかもしれませんが、デザイン情報学科(以下 デ情)では **PC 購入を強制しておらず、PC 持参を必須とする科目もありません**。しかし、経済的に無理のない範囲で PC をはじめとした情報機器を保有することは、今後の学生生活において大きなプラスとなることも事実です。だからと言って購入を焦る必要はなく、これから入学する人は、ひとまず 1 年次の前期期間中じっくり様子を見てから夏以降に PC 購入を検討しても遅くありません。特に、無理して最初から高性能な PC を購入しても 1 年生の授業内容ではさほど使わずに性能を持て余すかもしれませんし、逆にみなさんが 4 年生になって高度な卒業研究・卒業制作を行う頃には 1 年次に買った PC の性能が時代遅れになることも十分あり、それまでに故障して寿命を迎えることさえもありません。よって、自身が在学中に PC をどの程度使うのか、ある程度把握できた段階で無理・無駄のない購入計画を立てていくようにしましょう。

2. 推奨機種とデ情生の PC 保有状況

デ情としては **PC の種別に関する推奨や指定はしていません**。Mac (Macintosh) / Windows いずれかであればどちらを選んでも不公平にならないよう配慮されています。また、ラップトップ(ノート型) / デスクトップの種別もどちらでもかまいません。デ情生の PC 保有状況について、新 2 年生を対象とした調査において、自分専用の PC を所有している割合は例年 9 割前後になります。内訳としてはラップトップ型の Mac が多数派となります。しかし志向分野によっては Windows を選択する人もおり、美大の中では比較的 Windows ユーザーも多い傾向の学科とも言えます。また、近年では PC に加えてタブレット端末(iPad 等)を併用する人も増えています。ただし、タブレット端末だけでは課題制作に直接対応できない場合もあることから、PC の代わりとしてタブレットのみの単体保有は現時点で推奨しておりません。

3. 授業での PC 活用について

デ情の施設には PC を備えた教室(スタジオ)が 3 部屋あり、それらの教室でコンピュータを用いた授業を行います。よって、**PC を持参せずに授業を受けることが可能**です。また、学科では課題や自主制作用途に PC などの各種機器の利用が可能な専用の部屋を用意しており、授業のない空き時間や放課後に自由に利用ができます。

※授業科目によっては Windows PC の教室を使用しますが、もちろん Mac ユーザーも受講できます。逆に Mac の教室を使用する科目であっても Windows ユーザーも受講できます。両 PC の基本操作説明については必修科目の序盤で行います。また、Windows / Mac のうちいずれか一方のみしか存在しないソフトウェアを使用する授業科目はありません。よって自分が保有する PC の種別を気にすることなく授業を履修できます。

4. PC を購入する際の仕様(スペック)の目安

PC の機種選定にあたっては仕様・性能への正しい理解が不可欠ですが、ここで全てを説明することはできません。分野によっても要求されるスペックが大きく異なりますが、不安な人は以下の表の項目を満たせば当面は問題ありません。(次ページの分野別アドバイスも参考にしてください)

表:スペックの目安(ノート型・デスクトップ型の種別はどちらでも可)

	Mac (Macintosh)	Windows
CPU	Apple シリコン(M シリーズプロセッサ)搭載機種(推奨:M3 以上)	Intel Core Ultra5 か AMD Ryzen5 相当以上(推奨:Core Ultra シリーズ 2 もしくは Ryzen7 以上)
メモリ	16GB 以上を強く推奨(8GB は極力避ける)	
ストレージ	最低 256GB 以上(推奨:512GB 以上の SSD)	
画面解像度	最低 1920×1080 ピクセル以上	

※CG やゲームなど映像コンテンツ分野を目指す人は、上記に加え NVIDIA 社の GeForce シリーズに代表される GPU (Graphics Processing Unit) 搭載機種を強く推奨します。

※近年、CPU や GPU に加え AI 処理に適した NPU (Neural Processing Unit) を搭載したことを謳う機種も増えてきています。現時点において大学での授業に必要なものではありませんが、これから PC を購入する人は今後の動向に注目しておくといでしょう。

大学生活におけるスペック注意点

- ・ストレージについて、頻繁に PC を持ち歩く人は衝撃に弱い HDD は避け、必ず SSD を選択しよう。
- ・発色が鮮やかな光沢液晶搭載機種は、教室で授業を受ける際に天井の蛍光灯が反射して見づらいこともある。
- ・4K 以上の高解像度や 120Hz 以上の高リフレッシュレートの画面を搭載する機種は電力消費が激しい傾向にあり、朝から夕方まで授業がある日はバッテリーが持たない恐れがある。
- ・意外と重くてかさばる AC アダプターの大きさや重量も事前に確認しよう。予備のアダプターを購入して大学ロッカーに置くのも一つの方策。USB Type-C で充電可能な機種だと市販の小型充電器が使えてスマホとも共用でき便利。

5. 分野別の簡易アドバイス

デ情で扱う分野は多岐にわたるため最適な PC スペックを一概に述べることはできませんが、以下に簡単な指針を示します。これらはあくまで目安ですので購入時は自分でよく調べるようにしましょう。

- ・ **ビジュアルデザイン全般（グラフィックデザイン、プリントメディア、タイポグラフィ等）**
ラップトップ型 Mac が多数派で、将来デザイン業界に就職しても Mac が主流となります。サイズについて、頻繁に持ち歩く人は 13～14 インチが適しており、逆に自宅使用が多い人は 15～16 インチを買っておくと良いでしょう。
- ・ **イラストレーション、アニメーション、マンガ等**
こちらも比較的 Mac が多数派ですが、PC 本体の性能に予算を割くよりも、周辺機器として描画用のペンタブレットや液晶タブレット、プリンタなどを充実させる方がよい傾向にあります。PC に加えて iPad を併用する学生も増えています。
- ・ **デジタルフォトグラフィ**
当分野で最優先となるのは画面における色の再現性です。ビジネス向け PC など、一部の Windows ラップトップ PC は液晶ディスプレイの発色が劣る場合があるので注意しましょう。カラーマネジメント可能な外部モニタの導入も良い選択肢です。
- ・ **ウェブデザイン、ネットワーク分野**
ソースコードの編集が多くなる人は、ラップトップ PC を選ぶ際に一般的な 16:9 の画面比率ではなく、最近増えつつある 16:10 や 3:2 の比率の製品を選んでおくと縦寸が長く効率的です。自宅では外部モニタを縦向きに接続して使う人もいます。
- ・ **デジタルコンテンツ（映像、CG、ゲーム制作、VR/AR 等）**
最も PC 性能を要する分野です。可搬性を多少犠牲にしても性能を優先しましょう。特に GPU の性能と、それを支える放熱対策が重要です。当分野では Windows のゲーミング PC 利用者が増えており、より高性能なデスクトップ機を選ぶ人もいます。
- ・ **メディアアート、電子工作、インタラクションデザイン等**
センサーなど各種デバイスを組み合わせることも多いためその相性が重要となります。一概には言えませんが、Mac の方が設定なども比較的シンプルに済む傾向があるようです。あとは HDMI をはじめ、入出力端子が豊富な機種が何かと便利です。
- ・ **サウンドデザイン、音響・音楽分野**
大がかりなプロジェクトでない限り PC の性能や種別はさほど問われませんが、DAW（統合音楽制作ツール）やプラグイン音源、音響機器などの予算も想定しましょう。音楽制作ツールは値引きセールが多いので、焦って買わず安い時期を狙いましょう。
- ・ **モバイルアプリ開発、アプリケーションデザイン**
iOS や iPad OS 用アプリを想定するなら、その開発環境は Xcode、プログラミング言語は Swift が主流であることから Mac を推奨します。Android 版アプリについてはどの PC からでも開発が可能です。
- ・ **AI 研究、生成 AI の利用**
造形美術分野でも AI の利用が広がっています。既成 AI サービスの多くはクラウド環境で利用でき PC 性能を問いませんが、ローカル環境（自分の PC）で当該分野の研究、特に深層学習を行う人は GPU 性能（特に VRAM 容量）を重視しましょう。

6. ソフトウェアについて

PC 購入の際はソフトウェア（以下ソフト）の費用も考慮しましょう。一部のソフトは在学中、大学から提供されます。また、近年は学生向けに無償・廉価で提供される学生版ソフトも増えており有効活用すべきですが、一部の学生版ソフトは学習目的に用途が限定される場合があります商用利用を認めていないことがあります。よって作品販売などの際は確認が必要です。いずれの場合でも**正規ライセンス品の使用が重要で、違法コピー品は絶対に使用してはいけません。**

7. 本学学生向けの特別割引制度

Apple 社製品や Wacom 社製品など一部のメーカー品は本学の学生向けの特別割引制度があり、市販の学割価格よりもさらにお得に購入できます。詳細は入学後に学内ウェブサイトから確認できます。

※モリスワフونتも学割がありますが、**入学後に授業用途での購入を指示します**ので個別購入は控えて下さい。

8. オンライン授業のために

デ情の専門科目はほとんどが対面授業ですが、ごく一部はオンライン開講やオンデマンド授業となる場合があります。それらを自宅から受講するためには通信環境の準備が必要となります。大学キャンパス内では MAU-WiFi および MAUSPOT という名称の Wi-Fi（無線 LAN）を利用できます。

9. その他、補足事項など

情報機器の利用にはメディアリテラシー（メディアを読み解き、適切に使いこなす能力）が不可欠です。また、日ごろから PC のメンテナンスや大切なデータのバックアップなども心がけ、自己管理を怠らないようにしましょう。

不明な点や質問があれば入学後、デザイン情報学科の教員・スタッフにご相談ください。